

# 環境 マネジメント システムの 構築

## 初めての認証取得から全社拡大まで

2001（平成13）年7月、当社では社会・環境システム事業部社会・環境システム工場京都テクノセンターが、環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001（1996）を、「上下水道設備および電源設備のエンジニアリング、設計、製造および試験に係る活動」を製品／サービスの活動範囲として、財団法人日本燃焼機器検査協会（JHIA）より初めて認証取得した。

続いて2004年8月、横浜製作所がISO14001（1996）を、「車両用機器・産業用機器・駅務機器の設計・開発・製造」を製品・サービスの範囲として、株式会社トーマツ審査評価機構より認証取得した。

さらに2004年にはISO14001の規格改訂が行われ、横浜製作所では3年後の2007年8月の更新登録の際にISO14001（2004）への移行を果たした。

当社では、それまでの経緯からISO9001とISO14001を、それぞれ別の認証機関の審査を受けて適用部門への拡大を推進してきたが、2010年4月にはISO14001についてもISO9001と同じ JQA（財団法人日本品質保証機構）より認証登録を受けるとともに、適用範囲を全社へと拡大した。

それ以降、ISO9001とISO14001は同時に審査を受ける複合審査方式が採用され、現在へと至る。

## 当社の環境方針と環境マネジメントシステム

上述のように、2004年8月に横浜製作所はISO14001（1996）を認証取得したが、これに先立つ同年4月、「東洋電機製造株式会社横浜製作所環境方針」が取締役横浜製作所長名にて制定された。

その理念は、「地球と人にやさしい未来技術」を目指して、高効率・省エネ・バリアフリー対応の「ものづくり」に積極的に取り組むこととしており、2009年6月、新たに代表取締役社長名にて制定された「東洋電機グループ環境方針」（右ページ）として引き継がれ、現在に至る。

## 環境マネジメントの推進と環境への取り組み

当社では、環境マネジメントシステムによる環境活動の推進において、地球環境負荷および環境リスクの低減を目的とした省エネ、廃棄物削減などの活動を、横浜製作所を中心とした生産拠点

で実施している。省エネについては2005年以降、政府が主導するCO<sub>2</sub>削減の啓発活動「チーム・マイナス6%」、「チャレンジ25キャンペーン」の目標に準じた活動として捉え、主要生産拠点である横浜製作所の環境パフォーマンスの他、当社の環境活動を対外的に発信すべく、当時の「企業価値向上CFT（後のCSR-CFT）」（CFT：Cross Functional Team）のテーマとしても取り上げてきた。当時、当社のホームページはまだ導入初期の形態であったが、CSR活動の一環として「環境への取り組み」を新たなメニューに加え、右記の環境方針を示した。具体的な取り組みとしては、「地球にやさしい製品・システムの提供」、「地球温暖化防止」、「廃棄物削減」を3本の柱に掲げた。

その後、ホームページの全面的リニューアルに合わせ、当社の新たな環境への取り組みについて公表し、現在に至っている。

省エネへの取り組みの一環としては、2012年7月に横浜製作所工場棟の屋根に500kWの太陽光発電設備を設置し、製作所での使用電力の一部を賄っている。第155期（2015年6月～2016年5月）の発電量は約62万kWhで、横浜製作所の総使用電力量約680万kWhの9.1%に相当する。

その他、地域貢献では2014年5月より横浜製作所に隣接する企業と共同で、毎月1回、敷地周辺の清掃活動を実施している。今後は滋賀竜王製作所での取り組みも積極的に発信していく。

## ISO14001の2015年改訂と当社の取り組み

2015年10月、ISO9001とともにISO14001の大幅な規格改訂（2015年版改訂）が行われた。ISO14001（2015）改訂の重要ポイントは、①環境の保護 ②戦略的な環境マネジメント ③トップのリーダーシップの役割強化 ④環境パフォーマンス重視 ⑤ライフサイクル指向 ⑥環境コミュニケーション戦略の確立と実施 である。

当社は別記の品質マネジメントシステムと併せた移行計画を実行し、2017年4月、2015年版の環境マネジメントシステムへの移行を果たした。

当社では、本業の事業活動における品質マネジメントシステムへの理解は定着しているが、環境マネジメントシステムへの理解には温度差がある。2015年規格改訂はそれを改善する契機であり、2つの移行したマネジメントシステムを両輪として品質および環境活動を事業活動と一体化させていくための継続的な取り組みが、今後の課題である。

### 東洋電機グループ環境方針

#### 〈環境理念〉

東洋電機グループは地球環境保全への取り組みを重要課題に掲げ、持続可能な社会の発展に貢献する。

#### 〈行動指針〉

「地球と人にやさしい未来技術」により、地球環境への負荷に配慮した製品およびサービスに提供していく。

1. 環境に関する法規制などの要求事項を遵守する。
2. 製品の企画・開発・設計・製造・販売・使用および廃棄のすべてのライフサイクル段階でエネルギー消費の削減など、環境負荷の低減に努める。
3. 地球環境保全活動を継続して推進するシステムを確立し、実行する。
4. グループ内の啓発を通して、一人ひとりの意識向上を図る。



社会・環境システム事業部京都テクノセンターが取得したISO14001認証（2001年2月）



ISO14001認証（2017年）